

会 議 録

会 議 録	平成23年度 山陽小野田市高齢者保健福祉推進会議（第4回）		
開 催 日 時	平成24年2月23日（木）午後3時00分～午後3時50分		
開 催 場 所	山陽小野田市役所 本庁舎3階 第2委員会室		
出 席 者	養護老人ホーム長生園 今 田 格、小野田ボランティア連絡協議会 山陽小野田市社会福祉協議会 岡 本 志 俊、山陽小野田市民生児童委員協議会 特別養護老人ホーム高千帆苑 川 野 広 子、小野田在宅介護者の会とらいぽっど 市 民 代 表 白 川 渉、山陽小野田市小野田歯科医師会 山陽小野田市地域包括支援センター運営協議会 中 島 嘉 哉、厚狭歯科医師会 山口県作業療法士会 信久美佐子、山口県薬剤師会厚狭支部 小野田薬剤師会 藤 原 哲、山陽ボランティア連絡協議会 学識経験者（宇部フロンティア大学） 溝 田 順 子、小野田市医師会 山口県看護協会小野田支部 山 田 智 子	尾 崎 燎 子、 河 口 軍 紀、 佐 伯 友 枝 多 原 康 成、 野 村 忠 正、 原 田 美 智 子、 水 田 愛 子、 森 田 純 一、	
欠 席 者	市 民 代 表 麻野美智子、 厚狭郡医師会 河村芳高、 山口県理学療法士会 永池博己、 山陽小野田市老人クラブ連合会 平田武	委 員 数 21人 出 席 者 数 17人 欠 席 者 数 4人	
事務担当課 及び職員	高 齢 障 害 課 長 堀 本 正 春、 高 齢 障 害 課 課 長 補 佐 木 本 順 二、 高 齢 福 祉 係 係 長 矢 野 亜 希 子、 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 主 任 荒 川 智 美、	介 護 保 険 係 係 長 古 屋 憲 太 郎 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 所 長 尾 山 貴 子 高 齢 福 祉 係 主 任 主 事 村 田 直 美	
会 議 次 第	1 市長あいさつ 2 会長あいさつ 3 議題 （1）第5期山陽小野田市高齢者福祉計画（素案）に係るパブリックコメントについて （2）第5期山陽小野田市高齢者福祉計画の策定について ア 高齢者福祉計画の策定について イ 委員名簿の掲載について 4 その他		
会 議 結 果	1 について 市長（代理：高齢障害課長）があいさつを行なった。 2 について 会長があいさつを行なった。		

3について

(1)について

事務局：1月16日から2月15日までの1カ月間パブリックコメントを行なったが、意見がなかったことを報告する。

(2)について

アについて

事務局：手元の配布資料として、第5期山陽小野田市高齢者福祉計画「いきいきプラン 21」を用意している。これまでの会議の内容をもとに、基本的な変更はないが、若干文言等を修正したものを作成している。本日はこの概要版で、おさらいの意味合いを込めて説明させていただき、了承をいただければと思う。

事務局が概要版に基づいて内容説明をした。

イについて

事務局：p. 138～139 委員名簿について誤りがないか確認したい。薬剤師会からご指摘のあった、厚狭、小野田各薬剤師会の名称については、修正をしている。

委員：(その他の修正はなし。)

○質疑応答等については、以下のとおり。

委員：認知症高齢者施策のところで、認知症予防の推進は具体的にはどのようなことをしていこうと考えているか。

事務局：予防対策として様々な取り組みを考えているが、平成24年度から、新たに地域型認知症予防プログラムを組み込んだ認知症予防教室を実施する予定としている。これは、全国的に行われている取り組みで、実際に効果が立証されているもの。具体的には12回コースの教室形態であるが、終了後も認知症予防の取り組みを継続していけるようなものである。ただし、これは教室に参加した人しか出来ないものなので、この他の取り組みとして、現在200名程度の高齢者が参加している、生きがい対応型デイサービス事業に音読を取り入れ、継続的に認知症予防に取り組んでいこうと考えている。また、昨年物忘れ予防サポーターを市内に10数名育成したので、協力をお願いして、今年度は、老人クラブや自治会等で広げ

ていきたいと考えている。

委員：認知症予防には、基本的に過保護にせず、自分で出来るところは自分でしてもらい、出来ないところを補うというように、自立させることが大切。

委員：自治会の会食会に呼ばれて挨拶をするときに、人と話をしないといけない。「ちょっとした体操でも体を動かしてください、それが予防になりますよ。」と言うのだが、もっと簡潔なアドバイスは何かないだろうか。

事務局：委員の言うとおりで良いと思う。あとは生活習慣病を予防することが大事だと思う。

委員：介護ボランティア活動制度の普及推進はもう動き始めているのか。

事務局：現在は施設に限定しているが、平成24年度は、介護者に対してのプログラムを発信していく予定。それに端を発して、広げていきたいと考えている。

委員：昔の取り組みで、隣組のようなものがあったが、それに似たような取り組みはあるか。

委員：社協が推進している、社協、福祉員、ボランティア、自治会の理解・協力のもとでの、自治会ごとの出入り自由な居場所づくりというのはある。

委員：元気だけど定年後で仕事もないし何かしたいというような、地元をよくわかった人やある程度若い人が加わって、10人以内くらいのグループづくりをするような組織づくりをしたらどうか。有機的な取り組みが必要ではないか。

委員：自治会でも取り組んでいる。

委員：隣だから付き合いたくないという場合もあると思うので、自治会内で相性のいい人を組んでグループづくりをしないとうまくいかない。市が仕向けていくような方法でやっていってはどうかと考える。

会長：その他意見がなければ、計画について、意義がないか採決する。挙手をお願いしたい。

(委員全員挙手)

会長：第5期高齢者福祉計画は承認された。

4について

	<p>事務局：来年度の予定だが、平成25年度に施設整備を行なうため、夏に公募をするので、その選定のため会議を行なう予定である。</p> <p>事務局：会議と別件だが、3月15日の班回覧で、認知症予防教室の募集案内を出す予定なので、周囲の方に声掛けをお願いしたい。</p> <p>～ 閉会 ～</p>
--	---